

平成22年度 第1回常任理事会議事録

平成22年6月23日(水) 19:10～22:45 於:県士会事務所

出席者:上遠野純子,本地光弘,畑中一枝,大貫操,道又顕 常任理事5名/5名

○ 会長より

1) 北海道・東北地区作業療法士会「リーダー養成研修会」について

事業企画書が提示され目的・内容について説明された。予算について連絡協議会予算として出されているが、研修会開催に他の士会も名乗りを挙げているため予算の全てがまわってこない可能性もあり、その場合当県士会からの予算の持ち出しは可能であるかどうか審議されたが、協会や連絡協議会にて予算について詳細が決定し次第、理事会にて再度検討することとなった。

2) 法務局への役員変更の届出について

県士会理事の変更について6月4日法務局へ提出し、6月8日付けで変更内容受理されたとの報告がされた。今後も理事の変更があればその都度手続きが必要になるとのこと。

3) 仙台医療センター地域医療研修センター専門委員会について

6月22日平成22年度仙台医療センター地域医療研修センター専門委員会に会長が参加し、本来は登録医に対する研修であるが、分科会の研修内容は当会員にも有意義な内容であるため、今後その研修会をどのようにタイムリーに会員に周知できるようになるかを検討していきたいとの報告がされた。

【審議・報告事項】

○ 事務局

1) 理事役員の情報変更について

理事 佐久間聡子氏(仙台医療技術専門学校→仙台市障害者就労支援センター)

監事 高橋由美氏(仙台リハビリテーション専門学校→泉病院)

の職場異動について報告された。

2) 定期総会について

4/25(日)に開催された定期総会、新入オリエンテーション、理事会主催研修会の参加者数が報告された。

3) 会員資格喪失者について

4月の定期総会で議論された3年以上経過した会費未納者や所在不明者について協会の回答を受けて、県士会の会員管理について庶務部中心に対応を今後もマニュアル的に検討していきたいとの報告がされた。それを受けて、会費納入システムの再考が必要ではないかと意見が出された。

また、途中退会の扱いについても話が出され、年度途中での退会については各県士会で年会費も違っているため両県に会費を納入すべきだと意見が出された。これらについては今後都道府県連絡協議会などで審議していく必要があるだろうと確認され、その際宮城県士会での対応方針を示した上で協会の総会などでも提案していく必要があり、今後理事会や県士会総会で審議をしていくべきとの意見でまとまった。

4) 賛助会員募集について

今年度の追加募集の対応は出来ていないが、自動更新で今年度分は全ての会員会費は納入済みであるとのこと。

● 渉外部

・市町村認定審査会の会員推薦について

上手く人が集まらない現状があるとの報告がされた。審査会の質を高めるためにも審査員となった会員には2期は継続してやって欲しいと意見が出され、審査員育成も考え、各ブロックに働きかけ、講習会の開催を今後計画していく案が出された。

- 庶務部

- ・ 会員名簿について

6月末現在のデータでの作成を予定しており、OT協会の会員番号との整合性を持たせることを目指していききたいとの報告がされた。また、ボランティア保険の手続きが今年度完了していないため早急に手続きを進めていくとの報告がされた。

- ・ 定期発送について

東北学会誌の到着が7月の発送に間に合わないことと県士会ニュースにぜひ全国学会の記事を載せたいとの意見が広報部より出されたため、定期発送を8月に移動することとなった。

また、定期発送の外注について今後検討していきたいと話が出され、1社見積もりが提出された。現在行っている発送班での作業にかかる費用に近づけられるように、今後も何社か見積もりを取って進めていくことで承諾された。ただし、個人情報の取り扱いについては注意が必要であるとの意見が出された。

- 財務部

- ・ 会員証について

本年度より会員シールでの対応を開始したとの報告がされた。

- 広報部

- ・ 7月発行予定ニュースについて

全国学会の報告記事も含めて現在編集中であり、8月定期発送までの完成を目指すとの報告がされた。

- ・ 7/31(土)みやぎOT・PT・ST合同就職説明会参加について

例年の「リハビリテーション情報提供コーナー」については広報部員での対応が可能だが、今年度から企画の「普及啓発セミナー」については理事役員で対応をお願いしたいとの意見が広報部より出され、このセミナーの主旨が公文書だけではわかりにくいいため詳細を確認後、畑中事務局長が対応することとなった。

- ・ 県士会パンフレット作成について

H23.1発行号のニュースをパンフレット形式にし、H23.2頃の完成を目指したいとの広報部からの意見を受け、事業部と連携して作成にあたっていくことで確認された。

- ・ HP契約について

現在のHPは業者(車座)でないと更新出来ない状況にあるが、広報部員で管理するリンクサイトを新設しタイムリーな更新ができるようにしたいとの意見が出されたと報告され、具体的な更新の仕方(棲み分けの仕方)を広報部に提示してもらい再度検討することとなった。

- 事業局

- 事業部

- ・ 通所介護サービス事業所へのPT・OT支援モデル事業について

宮城県よりPT・OT士会に委託されている。デイサービスにPT・OTのいることのメリットを知ってもらい雇用などにつなげていくための県のリハビリセンター事業の一つである。5月22日職員向け研修会が開催された。県内2箇所へのOTRの派遣で実働し始めているが、報告はまだ受けていない状況である。派遣について、派遣先の事業所で事故などの可能性も考えて、保険等についても確認する必要があるのではないかと意見が出された。

- ・ テクノエイドに関する人材養成業務委託について

仙台市(仙台市障害者更生相談所)からの委託事業である。テクノエイドシステムのあり方や普及についてPT・OTに対して研修(他職種協働やテクノエイド支援を行うためのケアマネジメント、ICF、テクノ支援エイドの流れを学ぶ)を行う事業である。昨年度からの3年間限定であり、H23までの事業である。研修案は計画済みでPT・OT両県士会で運営していくこととなる。

今年度は2回の研修会で1回10万円の運営予算である。委託は受諾済みで契約まだ結んでいない。契約については、PT士会との共同契約のため、委託費用の流れを再度確認したうえで、OT士会が契約窓口となる分に関しては、正式に契約書を取り交わすこととなる。

来年度以降、委託事業から県士会での運営事業に変わる可能性があるためベースを作るような形で運営していくことが望ましいと意見が出された。

- ・ 写真展について

9月のOT月間に写真展を名取市エアリにて開催する予定であることが報告された。「作業療法の日全国キャンペーン」の一環として協会広報部広報活動費として予算が出される。それに伴って事業計画の見直し修正していくことが報告された。

- ・ その他

PT士会で訪問リハビリステーション管理者研修の動きがあり情報がPT士会より来ている。OT協会での対応方針が確定していないが、地方レベルではPT・OT・ST協働の動きを始めているところもあるとの情報も報告され、今後は当士会でも積極的に介入し行くべきであろうとの意見も出された。

この件に限らず、今後ますます県レベルでのPT・OT・ST協働が不可欠となる事業が出てくると思われ、県士会内にそのための部署を設けていってもよいのではないかという意見が出され、検討審議の必要があると確認された。

- 学術局

- 学術部

- ・ 平成22年度研究助成事業について

募集を開始(5月定期便およびHP)したが問い合わせや応募などはきていないことが報告された。

- ・ 学術誌「みやぎ作業療法」について

投稿案内について5月の定期便およびHPにアップ済みだが投稿は0件であり、士会員にお願いするような形になっているとのこと。依頼原稿待ちおよび原著論文等の投稿待ちとの報告がされた。4号の発行が遅れており年1回の発行ペースが難しい状態であることが報告された。今後対策を検討していきたいとの報告がされた。

- 教育部

- ・ 単位認定班

H21年度士会裁量ポイント名簿作成済みであることが報告された(8~9月発送作業の予定)

- ・ 活動予定

<生涯教育班> 10月 現職者選択研修 身体障害領域 12月 現職者共通研修

<臨床教育検討班> 12月 臨床教育実習に関する研修会開催 アンケート調査・冊子発行の準備

<単位認定班> SIGポイントの引き換え 10月~11月

とそれぞれ報告された。

- 常・特設委員会

- ブロック活動推進委員会

- ・ 宮城野ブロック 今年度内にブロック長、ブロック事務局の変更予定あり

- ・ 栗原・登米・気仙沼ブロック 事務局担当(高森ロマンホーム) 藤代寿美氏→遠藤宏恵氏へ変更

- ・ 仙台南・名取ブロック 事務局担当(仙台医療技術専門学校) 佐久間聡子氏→高橋幸恵氏へ変更

- ・ 東仙台・塩釜ブロック 事務局担当 岩切病院→坂総合病院(澁谷健太氏、工藤優美氏)へ変更

- 選挙管理委員会

H23年度役員改選時期であることが確認された。

- 県学会実行委員会

- ・ 第13回県学会開催方法について現段階では来年度総会時期に開催していきたいとの方向性で確認された。具体的な開催内容等については今後審議決定していくこととなった。

- 第 22 回東北作業療法学会実行委員会

大黒一司学会長のもと実行委員会は動いているため、今後県士会との関連性も視野に入れ大黒学会長が理事会に出席し学会の進捗状況について報告するとのことであった。また、全国学会で使用した物品について協会より県士会に寄贈されたものがあるためそれらの使用も可能であると本地副会長より報告がされた。

- 今年度の理事会開催予定については、基本開催日を第 3 水曜日とし、以下の日程での開催とすることで話し合われた。

平成 22 年 7 月 21 日（水） 第 1 回理事会

9 月 15 日（水） 第 2 回常任理事会

10 月 20 日（水） 第 2 回理事会

11 月 必要に応じ臨時常任理事会開催。

12 月 15 日（水） 第 3 回理事会

平成 23 年 1 月 19 日（水） 第 3 回常任理事会

2 月 16 日（水） 第 4 回理事会

3 月 16 日（水） 第 4 回常任理事会

また、定期総会は恒例で 5 月最終日曜日の開催としているが、次期は役員選挙もあり、1 週程度早めてもよいのではないかと意見が出され、今後検討していくこととなった。

- その他

- ・ H22.7/24-25 第 8 回協会・都道府県合同役職研修会への参加者について

上遠野会長と畑中常任理事の出席で仮回答はしてあるが、畑中常任理事に代わり道又常任理事が出席の都合がつけられないか確認していくこととなった。

- ・ 中央法規出版株式会社より、クリニカル作業療法シリーズ斡旋の依頼がきていたが、特定の業者への営利につながるような斡旋は法人としての立場もあり望ましくないとのことで意見がまとまった。

但し、賛助会員として直接的な営利内容でない形での広告掲載はこの限りではないので、賛助会員としての入会を働きかけてみることとなった。

次回理事会 理事会 7 月 21 日（水）19:00～ 県士会事務所